

2025 年 4 月

インドネシア 2024 年の国内自動車販売台数・前年同期比▲13.9%

インドネシア自動車製造業者協会（以下、ガイギンド）は、2024 年国内の自動車販売台数を発表しました。

1. インドネシア国内自動車販売台数(以下資料はガイギンド資料に基づき作成)

メーカー	2023年販売台数	2024年販売台数	対前年比	2023年 市場シェア	2024年 市場シェア	対前年比
トヨタ自動車	336,777	288,982	▲14.2%	33.5%	33.4%	▲0.1%
ダイハツ工業	188,000	163,032	▲13.3%	18.7%	18.8%	0.1%
ホンダ	138,967	94,742	▲31.8%	13.8%	10.9%	▲2.9%
三菱自動車	77,416	72,217	▲6.7%	7.7%	8.3%	0.6%
スズキ	81,057	66,809	▲17.6%	8.1%	7.7%	▲0.4%
韓国：現代自動車(HMID)	35,500	22,361	▲37.0%	3.5%	2.6%	▲0.9%
中国：上汽通用五菱汽車(SGMW)	23,540	21,923	▲6.9%	2.3%	2.5%	0.2%
中国：BYD	-	15,429	-	-	1.8%	1.8%
その他	124,545	120,228	▲3.5%	12.4%	14.0%	1.6%
市場合計	1,005,802	865,723	▲13.9%	100.0%	100.0%	-

2. 2024 年の振り返り

- 2024 年のインドネシア自動車販売台数は 86 万 5,723 台と、前年比 13.9%減となりました。ガイギンドが当初設定した 110 万台だけでなく、100 万台を大きく下回りました。
- メーカー別にみると、トヨタ自動車が 14.2%減の 28 万 8,982 台（シェア 33.4%）、ダイハツ工業が 13.3%減の 16 万 3,032 台（シェア 18.8%）、ホンダが 31.8%減の 9 万 4,742 台（シェア 10.9%）、三菱自動車が 6.7%減の 7 万 2,217 台（シェア 8.3%）、スズキが 17.6%減の 6 万 6,809 台（シェア 7.7%）となりました。日系以外では現代自動車が 37.0%減の 2 万 2,361 台（シェア 2.6%）、五菱が 6.9%減の 2 万 1,923 台（シェア 2.5%）と、日系だけでなく韓国・中国メーカーも苦戦しています。
- 一方で 2024 年 6 月より販売開始した中国・BYD は 7 ヶ月で 1 万 5,429 台を販売し数ヶ月で 1.8%のシェアを確保しています。BYD だけでなく、同じく中国メーカーの奇瑞（Chery）は前年比 124.2%増の 9,191 台（シェア 1.1%）、MG（上汽汽車集団グループ）は 235.9%増の 3,974 台（シェア 0.5%）と存在感を増す中国メーカーも増えてきています。
- ガイギンドは 2024 年 2 月に行われた大統領選や金利の高止まりが四輪の販売低迷につながったとしています。また、ガイギンドの会長は 2025 年の販売予測は 100 万台に達し、正常な需要レベルに回復するとの期待を示していますが、2025 年 1 月から付加価値税が 11%から 12%に引き上げられており（贅沢品とサービスのみ）、増税が課題になるとの見解を述べています。
- 付加価値税は増税となったものの、同じタイミングで低公害車の普及を目的としたハイブリット車（HV）の 3%減税を実施することになりました。これにより HV を得意とする日系企業への影響が注目されています。

3. その他

- ガイギンドは 2025 年度の販売目標を 90 万台に設定されました。2025 年度は増税の影響が懸念されていますが、これまで減税の対象になっていなかった HV が減税の対象になったことで消費が進む可能性も高くなってきています。
- インドネシアの自動車販売は大きく減少していますが、中国メーカーである BYD を中心に販売台数が伸びてきています。BYD は 2026 年に工場の建設を予定しており当地でも注目度が高くなってきていることから、自動車販売台数に加え、中国メーカーの動向についても今後お伝えしていきます。

以 上